

事業所名

オールウェイズプラス

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

28 日

法人（事業所）理念		・子どもたち1人ひとりの「生きる力」を育てます。					
支援方針		「楽しかったねえ」「また来たいなあ」そんな言葉が自然と聞こえるような、心地よい居場所になればと思います。また、保護者様やお子様の「〇〇したい」「〇〇出来るようになりたい」の気持ちを大切にされた個別の支援計画を元に、それぞれに合った支援をして、スモールステップを踏みながら「できた！」の喜びを大切にします。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握として、毎日の検温を実施。 ・活動場所の構造化を図り、何がどこにあるのかなどを文字や絵で掲示し、視覚支援を行います。 ・走る、跳ぶ、登る、押す、引く張るなど全身運動や、ハサミ、ノリなど手先を使う製作を行います。 ・食事のマナー、身だしなみ、トイレ排泄など身辺自立の向上を促します。					
	運動・感覚	・身体の運動機能を強化することによって、日常生活を拡充することを目的とした支援を行います。具体的な支援として、公園や教具などを使用した遊びを通して、身体を大きく動かす「粗大運動」、工作や調理を通じた「微細運動」を行います。また、いずれの運動機能においても、段階的に身につけられるように、個人のペース、能力に合わせた支援をします。 ・作業療法士による訓練では、指先の細かい動きを引き出したり、粗大遊具を使ってバランス感覚や体幹保持など様々な力を育てます。					
	認知・行動	・集団での外出や活動を行い、ルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう支援を行います。 ・また、活動において、成功体験だけではなく、失敗体験を積むことで、失敗に対して対応できる柔軟な心を身につけられるように支援します。 ・1日の時間帯別活動をタイムテーブルにして示し、確認による時間の認知形成、発達に合わせた学習の認知形成を促します。					
	言語 コミュニケーション	・適切なコミュニケーション能力の獲得や、社会生活における関係性の向上を活動プログラムを通して養います。 ・障がい特性に応じた読み書きや相手への伝え方の向上を支援し、ルール等を、絵カード等を使用して視覚化します。 ・言語聴覚士の訓練では個々のニーズに合わせた支援を個別に行います。					
	人間関係 社会性	・ルールに合わせた行動など、他者との関係の向上を図り、社会生活における適応力を養います。 ・遊びを通して社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目指し支援を行います。					
家族支援		困りごと等があった場合には、相談及び面談の機会を設けます。			移行支援		ライフステージに合わせた移行準備や、地域のつながりを一緒に考える。
地域支援・地域連携		保育所等や、学校、障がい福祉サービス等事業所と連携して、子供や家族のトータルサポートをする。			職員の質の向上		毎朝ミーティングを行い、全職員が利用児童に対して、同様の支援ができるようにする。
主な行事等		ブール 保護者会 季節のイベントの開催 社会科見学等					